

2018年2月11日(日) メッセージアウトライン 「同じものを見ているはずなのに」

聖書箇所：民数記13：25～14：10

タイトル：「同じものを見ているはずなのに」

テーマ：エジプトを脱出したイスラエルは、カデシュ・バルネアという場所にやって来た。

ここから神の約束の地カナンを探るために各部族から一人ずつ12人の偵察隊が派遣された。同じものを見て来たはずなのに、彼らの報告は、失望と希望に二分された。一体、何が原因で別々の結論が引き出され、失望に打ちのめされる者と希望にあふれる者が出てくるのか。私たちは同じ局面に立たされた時、どう考え、どう動くだろうか。その背後にあるもの、私たちが立つべきところをイスラエルの民のあり方から学んでみよう。

## 1. 文脈の確認

①出エジプトを果たした後のイスラエルの民の歩み (カデシュ・バルネアに着くまで)

②カデシュ・バルネアでの出来事

\* 主の命令——イスラエルの各部族の族長を遣わして、主がイスラエルに与えると約束されたカナンの地を探らせよ

\* 探るポイント

- ・その地がどんな地か、良いか悪いか
- ・町はどんな様子か、城壁の町か、宿営の町か
- ・土地は肥えているか、やせているか
- ・木があるか、ないか
- ・その地のくだものを取って来ること

\* 12人の偵察隊が出発

## 2. 10人の族長たちの報告

①良い知らせ——カナンの地は乳と蜜の流れる地

②悪い知らせ

\* 町々は城壁を持ち、大きい \* アナクの子孫を見た

\* カナンの地に住む民はイスラエルより強い、背が高い、イスラエルの民は比べてみればいなごのように見える —— 戦ってもとても勝てる相手ではない

## 3. ヨシュア (エフライム族) とカレブ (ユダ族) の報告

①巡り歩いた地はすばらしく良い地だった。乳と蜜が流れている

ここまでの報告は10人の族長と同じ

②ヨシュアとカレブはここから信仰による報告をしている

- \*主はカナンの地をイスラエルに与えると約束された
- \*イスラエルの民が主の御心にかなえば、主がイスラエルをカナンの地に導き入れ、あの土地をくださる
- \*カナンの地の人々を恐れてはならない
- \*主にとって、相手が強いとか弱いとか、背が高いとか小さいとかは関係がない。約束されたことのために、主が戦ってくださるのだから

#### 4. イスラエルの12部族は、出エジプト以来、同じものを見て、同じ経験をしてきた

- ①10人の族長たちの見たもの、経験したこと、そして彼らの結論
- ②同様のものを見、経験したヨシュアとカレブが出した結論

#### 5. 私たちはイスラエルの民を笑うことができるか

- ①クリスチャンの経験（イエス・キリストを救い主として信じた）
  - \*主の具体的な恵みや祝福を体験した
- ②現実の問題に直面した時、しっぽを巻いて逃げるか、主に信頼して問題に果敢に立ち向かっていくか

#### 6. 結論と適用

- ①不信仰に陥る原因
- ②不信仰という症状に対する治療法
- ③ヨシュアとカレブのように主に信頼して前進しよう！